

単元名 なかまのことばとかん字

配当時間 2時間

単元の目標 (1) 身近なことを表す語句の量を増やし、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味があることに気づき、語彙を豊かにすることができる。  
 (3) 言葉には意味によるまとまりがあることに気づき、言葉を集めて仲間分けをしようとする。

## 標準的な展開例

02010206\_001

【教材名】 なかまのことばとかん字

(上 P. 130～P. 131)

【準備等】 言葉カード

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 提示された言葉を仲間に分け、理由を話し合う。  ★言葉を仲間分けしよう。  ○教科書に提示された言葉で、仲間分けゲームをする。</p> <p>○仲間分けした理由を発表し、「～のなかま」という名前を付ける。</p> <p>2 既習漢字などを基に、仲間の言葉集めをする。  ★仲間の言葉集めをしよう。  ○グループで、仲間の言葉集めをする。  ・動物の名前  ・動きを表す言葉  ・体の部分 など</p> <p>○集めた言葉で仲間分けゲームをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書(P130～131)の言葉をカードに書いて黒板に提示し、仲間分けゲームを取り入れて興味をもたせる。</li> <li>・それぞれの漢字の読み方も確認する。</li> <li>・児童やクラスの実態に合わせて、言葉の仲間分けが見やすいワークシートを用意してもよい。</li> <li>・漢字で書けるものは漢字で書かせる。</li> <li>・教科書(P. 153)「ことばのたからばこ」なども参考にして集めさせる。</li> <li>・仲間集めゲームに生かすために、三つ程の観点で仲間集めをさせる。</li> <li>・仲間集めに困っているグループには、いくつかの観点を提示し、その仲間を集めさせる。</li> <li>【評】仲間の言葉を集める活動を通して、語彙を豊かにし、意味による語句のまとまりがあることに気付く「知識・技能」を評価する。</li> <li>・カードに自分たちが集めた言葉を書かせる。</li> <li>・ゲームなので、集めるまでの時間を計るなどのルールを決めて楽しめるようにする。</li> <li>【評】仲間分けゲームの活動を通して、言葉には意味によるまとまりがあることに気づき、言葉を集めたり、仲間分けをしたりしようとする「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</li> </ul>

【 備 考 】